



STANDARD
TOKYO

2024年11月7日

各 位

会社名 株式会社セプテーニ・ホールディングス
代表者名 代表取締役 グループ社長執行役員 神 埜 雄 一
(東証スタンダード コード番号 4293)

2024年12月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向等を踏まえ、2023年12月期通期決算発表時に開示しました2024年12月期通期(2024年1月1日~2024年12月31日)の連結業績予想を修正することといたしましたので、お知らせいたします。

なお、2024年12月期の期末配当予想については、2024年8月6日に公表した内容からの変更はございません。

記

1. 2024年12月期通期連結業績予想(2024年1月1日~2024年12月31日)

	収益	Non-GAAP 営業利益	親会社の所有者に 帰属する当期利益	基本的1株当たり 当期利益
前回発表予想(A)	百万円 31,000	百万円 4,700	百万円 6,500	円 銭 31.35
今回発表予想(B)	28,100	3,000	5,150	24.84
増減額(B-A)	△2,900	△1,700	△1,350	—
増減率(%)	△9.4	△36.2	△20.8	—
前期実績 (2023年12月期通期)	34,267	5,091	4,319	20.74

(注) 1. Non-GAAP 営業利益は、IFRSに基づく営業利益から、買収に伴う無形資産の償却費、M&Aに伴う費用等の買収行為に関連する損益、及び株式報酬費用、減損損失、固定資産の売却損益等の一時的要因を調整した恒常的な事業の業績を測る利益指標であります。

2. 2023年12月期は決算期変更に伴い、2022年10月1日から2023年12月31日までの15ヶ月となっております。

2. 修正の理由

収益において、当社の中核事業であるデジタルマーケティング事業のけん引により売上高は順調に拡大している一方で、対売上高収益率の低下により期初予想との乖離が生じております。

この状況を踏まえ、期中における新規採用のコントロールを中心とした人件費の抑制やメディアプラットフォーム事業を中心にコストの適正化などを進めてきたことで、販管費については期初の計画に対して一定程度抑制できたものの、収益の下振れ影響が大きく、Non-GAAP 営業利益については期初予想に対して約36%の下振れとなる見込みとなったことから、今回、2024年2月8日に公表した2024年12月期通期の連結業績予想を下方修正することといたしました。

足元の対策としては、対売上高収益率の改善に向けた取り組みにより第1四半期を底として四半期を追うごとに改善が見られています。また、事業ポートフォリオの見直しに組みながら、生産性向上に向けたコストコントロールを実施しております。

中期テーマとして掲げる「フォーカス&シナジー」のもと、中核事業であるデジタルマーケティング事業のさらなる強化を図り、来期での増益転換ならびに中長期での持続的な成長の実現を目指してまいります。

3. 配当予想について

当社は2024年12月期を次年度以降に戦略的な成長投資を行うための準備期間と位置付けております。そのうえで、2024年8月6日公表の「株主還元方針の変更及び期末配当予想の修正（増配）に関するお知らせ」でお知らせした通り、2024年12月期の期末配当金は1株当たり31.35円としております。

今回、業績予想については修正することとなりましたが、配当予想については従来予想の1株あたり31.35円で据え置きといたします。

(ご注意)

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績は、様々な要因により上記予想数値と異なる場合があります。

以 上

■本件に関するお問合せ先

CEOオフィス IR部 E-mail: ir@septeni-holdings.co.jp